

提出順	15	発言順	15	令和4年9月2日 午前・午後 10時31分受領
-----	----	-----	----	----------------------------

( / 枚中No. / )

令和4年9月2日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 増田望三郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和4年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	安曇野における持続可能な農業への転換 ～学校給食の有機米を端緒に～		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

国連が採択したSDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けて世界の国々が目標値の達成に向けて様々な分野で取り組んでいる。農業分野ではこれまでの環境負荷の高い慣行農業を見直し、化学農薬や化学肥料を低減した持続可能な農業への転換が求められており、国は「みどりの食料システム戦略」を打ち出した。農業立市の安曇野市においても持続可能な農業 (減農薬・減化学肥料・有機) に向けての取り組みを加速するの否。

- 1、みどりの食料システム戦略の背景と必要性について (市長)
- 2、昨今の肥料や資材高騰による市の農家の現状は (農林部長)
- 3、慣行農業による生物多様性や地下水への影響は (市民生活部長、農林部長)
- 4、市もみどりの食料システム戦略に基づくシフトをするの否 (市長)
- 5、市の有機農業の現状と振興計画での位置づけは (農林部長)
- 6、有機農業推進のための施策について (農林部長)
- 7、学校給食の有機米を端緒に (教育長)
- 8、学校給食理念の改訂 (教育長)
- 9、学校給食の有機米を増やせるか (教育長)
- 10、有機米を出す理由。子どもたち、市民への認知を広げる (教育長)
- 11、生物多様性と地下水を一丸になって守る安曇野のまちづくり&シチズンプライド (市長)